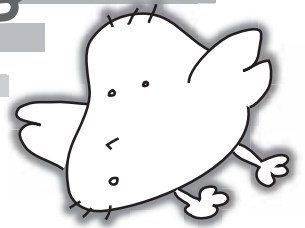




# ぬぷぼん

## 日本財団様より助成をいただき 新車両を購入しました!



今年3月、日本財団様より助成いただき、新しい車を  
購入する事が出来ました。

NV350 キャラバン 通称じゅぶ号です。今回のぬぷぼんでは、現在じゅぶが  
所有している車、全8台を改めて紹介させていただきます。



- 2017年度 事業報告および収支報告
- じゅぶ車両紹介 ● 当事者が語る人権セミナー報告
- 研修報告 ● ゆるがせ通信 ● 当事者の視点から：第9回
- 『素直』って何だろう? ● たんぼ・はたけ報告
- ふじたん家のあれこれ ● じゅぶ川「冷たい」
- 新スタツフ紹介 ● あとがき



特定非営利活動法人りあん 地域生活サポートセンターじゅぶ通信「ぬぷぼん」

第27号 2019年8月



# 2017年度 事業活動収支計算書

2017年4月1日～2018年3月31日 (単位:円)

	2017年度予算額	2017年度決算額	差異	備 考
収 入				
1会費収入	80,000	38,000	-42,000	
会費収入	80,000	38,000	-42,000	団体1 個人15 コパン3
2寄付金収入	0	0	0	
寄付金収入	0	0	0	
3助成金収入	232,656	2,332,656	2,100,000	
助成金収入	232,656	2,332,656	2,100,000	相談家賃補助 日本財団車両
4事業収入	103,058,000	105,476,112	2,418,112	
居宅支援事業収入	79,000,000	82,788,877	3,788,877	
外出支援事業収入	12,600,000	12,457,060	-142,940	
相談支援事業収入	7,550,000	6,510,800	-1,039,200	市委託費・認定調査・計画作成
福祉輸送事業収入	1,800,000	1,956,209	156,209	
私人居宅支援事業収入	10,000	0	-10,000	ちゅぷ利用なし
研修開講事業収入	70,000	165,000	95,000	重度訪問介護研修受講料
シェアハウス事業収入	2,028,000	1,598,166	-429,834	家賃・共益費・体験利用料
5雑収入	30,000	14,021	-15,979	
雑収入	30,000	14,021	-15,979	外部講師料・預金利息など
事業活動収入計	103,400,656	107,860,789	4,460,133	
支 出				
1人件費支出	83,870,600	80,155,623	-3,714,977	
役員報酬	3,350,600	3,353,291	2,691	現場役員報酬
給与手当	60,000,000	58,855,428	-1,144,572	常勤・非常勤・パート
賞与	10,500,000	8,800,246	-1,699,754	常勤5ヶ月分 パート1ヵ月分
通勤費	2,520,000	2,379,175	-140,825	常勤・非常勤
法定福利費	7,500,000	6,767,483	-732,517	社会保険・労災保険・雇用保険
2事務費支出	1,430,000	1,283,781	-146,219	
福利厚生費	950,000	960,253	10,253	退職金共済・健康診断など
研修費	400,000	297,178	-102,822	外部研修受講料、交通費など
諸会費	80,000	26,350	-53,650	各団体加盟会費など
3事業費支出	17,790,585	17,698,708	-91,877	
旅費交通費	200,000	372,134	172,134	電車・有料道路・駐車場代など
消耗品費	1,000,000	2,000,726	1,000,726	バイク・2階改修・事務用品など
印刷製本費	250,000	173,502	-76,498	記録表・通信・封筒・名刺など
水道光熱費	700,000	704,877	4,877	水道・電気・ガス・灯油など
広告費	300,000	631,684	331,684	広告・ホームページ管理費など
車両費	600,000	887,199	287,199	車検・点検・タイヤ・修理など
燃料費	1,200,000	1,166,550	-33,450	ガソリン代など
通信運搬費	850,000	1,040,190	190,190	電話・ネット通信費・郵便など
会議費	50,000	44,036	-5,964	会場代、お茶代など
新聞図書費	15,000	9,727	-5,273	書籍・DVD購入など
手数料	150,000	187,438	37,438	振込手数料など
損害保険料	1,230,000	1,260,525	30,525	自動車・福祉サービス・火災
賃借料	6,677,110	6,831,421	154,311	事務所・駐車場・シェアなど
租税公課	120,000	188,850	68,850	固定資産・軽自動車・印紙など
リース料	490,000	542,088	52,088	プリンタ・介護請求ソフト
食料費	50,000	101,964	51,964	研修用食材など
支払報酬	1,470,000	1,440,000	-30,000	労務・会計・セコム・講師など
交際費	30,000	104,895	74,895	
寄付金	0	0	0	
修繕費	30,000	0	-30,000	
雑費	0	10,902	10,902	
予備費	2,378,475	0	-2,378,475	
4減価償却費	309,471	1,096,372	786,901	
減価償却費	309,471	1,096,372	786,901	車両 設備 器具
事業活動支出計	103,400,656	100,234,484	-3,166,172	
事業活動収支差額	0	7,626,305	7,626,305	
法人税・住民税及び事業税	72,200	1,121,927		
当期正味財産増加分	-72,200	6,504,378		
前期繰越正味財産額	28,199,193	28,199,193		
次期繰越正味財産額	28,126,993	34,703,571		

## ■全体の状況

今年度は特に、以下の2点を方針として掲げた。

### ・障害者雇用の推進

これは、一定の成果を上げたと言える。登録ヘルパー、事務職、相談員補助など、様々な職種で、勤務時間も長短多様だが、5名の新採用があった。障害種別も、聴覚障害、肢体不自由、精神障害、知的障害と様々である。それぞれ、ヘルパーや事務の業務だけでなく、研修などの場において、当事者としての意見を発言するという役割においても、活躍している。

### ・学童保育の実施について検討する

これについては、大津市担当課を訪問し、市内の充足状況、認可の流れ、など確認した。

## ■居宅支援事業・外出支援事業

必要に応じて、24時間、365日の支援を実施している。日常的な生活の支援だけでなく、趣味の活動の支援、旅行の支援など、様々な部分で関わることが出来た。主な成果は以下。

・遠方より滋賀県内で開催される研修に参加される方があり、2泊3日の間、現地でのヘルパー対応をした。

・通勤時のヘルパー利用が出来ない課題に対して、制度内での対応は不可であるが、報酬外で対応した事例があった。

・ヘルパー業務の内外を問わず、何かと相談を受けることも多い(パソコンやネット関連、蜂の巣駆除など)が、可能な限り対応している。当事業所の特徴的な部分であると思う。

従業員不足は続いているが、年度途中、10年以上登録ヘルパーとして活躍してくれていた者が常勤となった。登録ヘルパーの募集について、新たな媒体による求人を試したところ、効果が上がった。また、当法人としては初めて男性が育児休暇を5ヶ月ほど取得した。事務や相談業務の補助をするパートを増員し、常勤ヘルパーの業務を分散した。年度途中より採用したパート2名は障害当事者でもあり、その強みを生かし研修企画などにも携わっている。

従業員数(実働)		(人)
	月当たり	
常勤ヘルパー	8~10	
パート	1~3	
非常勤ヘルパー	46~69	
休職中(産・育・他)	1~2	

利用者数(人)		
	月あたり	
大津市	51~60名	
その他県内	20~24名	
県外	0~1名	
合計	73~83名	

・グループ支援のみの利用は人数にカウントしていない。

利用時間数(時間)		
	合計	
身体介護	2,372.5	
家事援助	505	
通院介護	400.5	
行動援護	216.5	
同行援護	354.5	
重度訪問介護	20,527	
移動支援	4,146.5	
グループ支援	1,508	
合計	29563.5	

## ■相談支援事業

市内の相談員が不足している状況が続いており、業務が遅れ、受給者証の発行が遅れるなどして、利用者や事業所に迷惑をかける状況があるため、市に改善を求めている。

地域の課題として、先ず一番に事業所(人材)不足が挙げられる。例えば、ヘルパーの退職や怪我の際に交代要員が居ない、事業所自体の廃止、などにより事業所側から契約解除を求められることが多い。本来ならば、事業所の責任であるが、実際には相談員が動かざるを得ない状況があり、事業所探しに多くの時間を割くこととなる。

## ■研修開催事業

より多くのヘルパーを確保するため、重度訪問介護従業者養成研修を開催した。従前より、講師・講師補助として障害当事者の協力を得ており、講義、実習共に、より実践的な内容になるよう検討を重ねつつ、幅広い障害当事者の協力を得ながら、実施している。

## ■交流事業の開催

一昨年度より開始した「懐メロ喫茶 ばばるで」について継続して実施している。4～15名程度の参加者があり、自由に入出がある。開催時は、常勤スタッフ一名と、ボランティアにより運営しているが、参加者が自主的に手伝って下さることも多い。参加者同士、日常とは違った交流をされたり、個々の時間を楽しむなど、様々に過ごされている。稀ではあるが、近所の方が通りがかりに立ち寄って下さることもある。

## ■シェアハウス運営事業

昨年度より運営を開始したシェアハウスであるが、年度途中より住人が1名増え、年度末時点で3名となっている。また次年度5月には、もう1名の入居が予定されており、近く4名で満室となる見込み。体験室については、入居に向けた体験に限らず、活用されている。

## ■各種研修への参加・実施

今年度は、大きな研修を開催するのではなく、小規模な研修をこまめに開催する方針で実施した。事前に従業員にアンケートを実施し、要望の多い内容の研修を実施した。それぞれ参加人数は少ないが、その分、参加者からの発言も多く、満足度の高い研修が出来ている。

## ■ほか、交流事業の開催、広報・啓発事業など

# 今後の主な方針

## ■「当事者に学ぶ」を意識した研修やセミナー開催

近年、開催した研修の中でも、当事者が語る内容のものは受講者の満足度が高い。あらためて「当事者に学ぶ」を意識した研修やセミナーを開催していきたい。

当法人内での従業員に対する研修はもちろんだが、地域に向けての啓発活動として開催するセミナーにおいても「当事者の語る人権セミナー」と題し連続講座を行いたい。

## ■「精神障害」の理解を深める

これまで、身体障害(肢体不自由)・知的障害・難病の方は割合多く、精神障害については少ない。一方、手帳所持者の数や、そのサービス利用者の数で言えば、精神障害に分類される人の数は、ここ数年、大幅に増えている。

そういった状況の中で、これまでも少なからず関わりのある「精神障害」という分野に対して、より見地を深めるべく、従業員への研修や、地域への啓発などを、より積極的に進めていきたい。

※2017年度事業報告ならびに会計報告、及び監査報告、2018年度事業計画ならびに予算の全文につきましては、事業所で閲覧できる他、過去の分も含め、ホームページでもご覧いただけます。

# じゅぷの車紹介

表紙の続きです。ここ最近、新しい車も増えてきました。改めて、今現在じゅぷにある車を紹介させていただきます。（今秋にも入れ替え予定あり！）

## ライフ (2009年5月～)

愛称：特になし

色：黄色（だいぶ色あせていますが…）

特徴：旧じゅぷ号引退により、じゅぷ一番の古株に。唯一のMT車。  
実は、じゅぷの福祉輸送はこの車がないと出来ません。2種免許を持っていないと、福祉輸送には使えません。



## タント (2010年6月～)

愛称：特になし 色：黄色

特徴：福祉車両ではない、軽自動車。じゅぷの車両で福祉車両ではないのは、ライフとタントの2台だけです。車イスを使わない人も多い為、重宝しています。



## エブリイ (2011年4月～)

愛称：特になし 色：白色

特徴：軽の福祉車両の中でもトップクラスの広さを誇ります。この車でないと乗れないという人もいます。車高が高い為、揺れが大きいのが玉にきずです。



## ワゴンR (2012年12月～)

愛称：ネオR 色：銀色

特徴：以前、もう一台ワゴンRがあった為「ネオ」と呼ばれています。最近では珍しい、後部座席を取り外し車イス使用になる車です。見た目は小さいですが、電クールの人でも利用可能。スロープの角度も小さく、個人的にも好きな車です。



## セレナ (2014年3月～)

愛称：特になし

色：ロゼブロンズ（何色なのか分かりません…）

特徴：普通乗用車の福祉車両です。乗り心地が一番いいと思います。旅行など、長い距離を使う時はセレナご指名が多いです。シートを上げ下げする事で、荷物を一杯積んだり、人も7人まで乗れたり便利な点も多いです。難点としては、車イスの固定がしにくい事と、色が分かりにくいです。



## フレア (2016年2月～)

愛称：特になし 色：白色

特徴：まだまだ新しい車です。車内装備として、バックモニター、DVD、ナビなどがついており、充実しています。車イス乗車後、スロープが閉めにくいところが残念。



## クリッパー (2018年2月～)

愛称：特になし 色：緑色

特徴：今年仲間に加わった、ピカピカの新车です。ターボがついている為、走りも好調。後部座席を折りたたみ、車イス使用にするのですが、半分だけ折りたたみ、後部に、車イスの人+1名座る事も可能です。全部折りたたんで、広く使う事も出来ます。1点残念な事は、最近の車の特徴なのか、スロープが折りたたみにくいです。



## キャラバン (2018年3月～)

愛称：じゅぷ号 色：白色

特徴：日本財団様より助成いただき、今年より仲間に加わった、今じゅぷで一番新しい車。「新じゅぷ号」です。車イスの人が二人乗れる車は、この車だけです。そのぶん大きくて、運転には気を使います。が、この新じゅぷ号、バックモニター付いています。大きい故に、行きづらいお宅もあり、稼働は少ないです。これから沢山の人を乗せ、長い距離を走ってくれる事を期待しています！



# 寝たきり芸人あそどっぐトークライブ

今回、第1回 障害当事者が語る人権セミナーを6月9日に瀬田東市民センターで開催しました。初回という事もあって企画のねらいについて実行委員で話し合う中で、改めて障害当事者が地域で当たり前暮らしというテーマでもっと身近な実体験を話したいし、それを地域の人に知ってもらいたい。これは僕のイメージですが、「人権」というと堅苦しくなり過ぎたりすると思います。「気軽に聞きに行こう」と思ってもらえるような内容にしようという事でNHK Eテレで放送されている「バリバラ」でおなじみの寝たきり芸人あそどっぐさんに熊本県から遠路はるばる来ていただきました。ちなみに滋賀県は初めてだったそうです。ようこそ滋賀県へ！

当日は想像以上に多くの参加がありました。自作コントをたっぷりやって頂き会場は、爆笑が起きました。映像や音声を駆使しながら、とても工夫がされていて、飽きない内容でした。僕も講演とお笑いをやっているのでも、大変勉強になりました。僕があそどっぐさんのお話の中で特に印象に残っているのは、「生活のすべてにおいて特別なことは何もしていません。」という言葉でした。僕自身もよく言われるのは、何かにつけて「凄いですね」と言われます。スーパーで買い物をしているだけなのにとか。でも、言っている人に悪気はなくて、出会う機会が少ないからそう思ってしまう。何度も出会えば自然と変わっていきます。そういったこと会場の皆さんと共有することが出来て良かった実感しています。

こういう機会を継続的にやっていくことが大事なので次回もお楽しみに。

最後までお読みいただきましてありがとうございました。

(中川 佑希)





6/13 開催

## 研修報告 「精神障害当事者と交流しましょう」

じゅぷは、身体障害の方へのヘルプが主とされているようです。実際は、3障害・発達障害・難病すべてを支援の対象としています。社会的にもうつ病で休職する人が増加して、職場環境や社員のメンタルヘルス対策の必要性が明らかになっています。

このような中で、ヘルパーさんの中からの「精神障害について学びたい」との声を受けて、気分障害をテーマに当事者との交流の機会を持ちました。

まず、気分障害（うつ病・双極性感情障害）がどのような病態・特徴を持つ病気なのか・治療法（薬物療法・リワーク支援・元気行動回復プラン・認知行動療法）を私の体験を織り交ぜながら話しました。そして、当日来て頂いたピアサポートwish（ピアサポートが希望の一つになるように、とピアだからこそその経験を分かち合う事を通して、退院促進支援・地域生活継続支援・啓発活動を行う精神、発達障害当事者の会）の気分障害当事者の体験発表を通して、より身近に、より具体的に気分障害への理解を深めました。体験発表では、発症からリカバリーまでの具体的な経過を印象に残っている関わりや声掛けなどエピソードを交えて話して下さいました。その後、2つのグループに分かれて交流する時間を持ちました。

グループワークでは、障害を会社に開示して働いているのか？どのような経緯で開示しようと思ったのか？開示しているメリット・デメリットは？そもそも障害に関係なく知らないが故の偏見・差別意識があるのではないかといいた事が話題に上りました。また「LINEの返信をしないとイヤだと思ってしまうが、どう返したら良いのか悩む」という声があり、当事者から「自分なりの理論を整理・公表しているのであり、答えを求めている訳ではない。共感出来る点・範囲で返してくれると良い、読んでくれている事が分かるだけでも嬉しい。」との思いが伝えられました。

以下、ヘルパーさんの感想を紹介します。

- ・ 障害者を腫れ物に触れるような目で見るとはなく、「対等に接して、悪い事があれば叱って欲しい」という言葉がとても心に響きました。
- ・ 気分障害が、脳の病気なのを初めて知りました。また、受け入れる大切さも知れ、時間をかけてでも受け入れてもらえるように関わりたいと思いました。
- ・ うつと一言では言えない、簡単には治らないが、本人と家族や友人周囲の人の支えの大切さを知りました。
- ・ 気分がうつ状態の時本人は覚えていないものだと思っていたが、反応出来ないだけで覚えている事を知った。心には届いているとの事なので声掛け、関わり続ける事が大事だと思った。

ひとりでも多くの方に精神障害を知って頂きたいので、今後、統合失調症・発達障害をテーマに研修会を考えています。皆さんの参加をお待ちしています。

(竹花 育子)

## 最近感じたこと・・・

阿部正之

みなさんこんにちは。阿部です。

最近、ふわっと感じたことを今回は書かせてもらいたいと思います。よくよく考えてみるといつの間にか、「地域生活サポートセンターじゅぷ」は、おかげさまで設立から15年が過ぎていました。15年という歳月は赤ちゃんがもう高校生になろうかという歳月。これもひとえに、これらをご覧いただいている皆様のご理解とご協力の賜物と感謝しております。ここまで「じゅぷ」も順調に進んできたように見えますが、山あり谷ありの連続で、様々な経験をさせていただきました。泣きそうになったこともありました。当初に比べ事業所自体が本当にたくましくなったと思います。



2003年当初は男性スタッフ2名と数名の登録ヘルパーさんからのスタートでしたが、2018年8月現在、事務所スタッフ12名と登録スタッフ80名以上という、近隣の事業所と比べても大所帯になってしまいました。本当にありがたい話です。みなさんのご協力がなければ、ここまでにはなっていなかったでしょう。なんとか地域のニーズに応えたい一心でここまで走ってきました。

ただ一方で、地域生活に困っておられる方々も、まだまだ存在しているのも事実です。現に毎月数件程度の新規依頼があります。が実際は依頼に応えられていないのが実情です。

特に平日の夕刻以降と土日祝日の外出に依頼が集中します。「じゅぷ」においても、なん



2003年度「日常生活支援研修」の様子

とか依頼に応えようとスタッフ一同そして、たくさんの登録さんにも協力をもらっていますが、双方のニーズをマッチングさせるにもひと苦勞。また、新人を育成していくにも時間がかかってしまいます。じゅぷの登録の約4割は大学生ですが、たいへん貴重な戦力と思ってます。若いので体力があり、吸収がはやいので、非常にありがたいのですが、最長で4年という歳月は残念です。慣れてきたかなという頃に、はい「卒業」。悲しいです。

話は変わりますが、「じゅぷ」で働きたいということで、ここ2ヶ月ぐらいの間に登録希望者が10数名来所し、面談させていただきました。話を聞くと紹介であったり、ホームページを観たということでの応募でした。この人材難のご時世に非常にありがたい話ですが、



ここ何年もホームページをしっかりと更新できておらず、お恥ずかしい話でもあります。

応募者の中には資格を保有されている方やそうでない方、様々な方がいます。障害ヘルパーの資格制度は「介護保険制度」に準じていますが、障害福祉サービスは特性に合わせて様々なサービスが用意してあります。我々、現場のスタッフでも理解するのが難しいです。さらにこれら制度が毎年のように改変されていきます。様々なサービスに対して様々な資格が用意されていてややこしいので、改めてここに整理して掲載しておきたいと思います。みなさまのスキルアップにも役立ていただければと思います。

		提供するサービス										
		居宅介護					重度訪問介護		行動援護	同行援護	大津市／草津市 移動支援事業	
		身体介護	家事援助	通院介助 (身体介護あり)	通院介助 (身体介護なし)	通院等 乗降介助	区分 4～5	区分6				
		区分1以上	区分1以上	区分1以上	区分1以上	区分1以上	区分4以上 を要する者	区分3以上 その他条件あり	知的障害者 精神障害者	視覚障害者	屋外での移動が 困難な障害者等	
保有している資格	介護福祉士	○	○	○	○	○	○	○	○ (注1)	△ (注2)	○	
	実務者研修	○	○	○	○	○	○	○	○ (注1)	△ (注2)	○	
	介護職員初任者研修	○	○	○	○	○	○	○	○ (注1)	△ (注2)	○	
	ホームヘルパー 資格	1～2級	○	○	○	○	○	○	○ (注1)	△ (注2)	○	
		3級	30%減算	10%減算	30%減算	10%減算	10%減算					
	重度訪問介護 従業者養成研修	基礎課程	重度訪問 介護単価	10%減算	重度訪問 介護単価	10%減算	10%減算	○				○
		追加/統合 課程							○			
	行動援護従業者養成研修 又は 強度障害支援者養成研修									○		○
同行援護従業者養成研修										○	○	

注1 2020年4月1日以降、知的障害者・児又は精神障害者の直接支援業務（入浴、排泄食事等の介護、調理及び洗濯等の家事）に2年かつ360日以上に従事経験を有する者

注2 視覚障害を有する身体障害者等の福祉に関する事業（直接処遇職員に限る）に1年以上従事した経験を有する者

今回の当事者の視点は、当法人の運営委員の中川佑希さんにお願しました。

中川さんは電動車椅子の障害当事者で「でんでんくるくる」という名でお笑い芸人として奮闘中です。また障害者自立支援協議会で差別解消に向けた取り組みを行う等、多方面で活躍されています。

## こんな仕事をしています！

中川 佑希

僕は今年の5月から個人で仕事を始めました。「オフィスゆうき」という個人事務所です。覚えて下さいね。そもそも何をしているのかと言うと学校関係や福祉事業所の職員研修、地域での人権学習などに出向き、講演を主にやっています。大津市だけでなく、大阪、兵庫にも行っております。依頼があれば何処までも行きます。

その他には、滋賀県と大津市障害者自立支援協議会の会議に障害者当事者として出席し、差別解消に向けた取り組みや研修の企画などに参加をしています。これらが主な活動です。



まだ、初めて三カ月なので慣れないことが多いです。例えば自分一人でやっていくにあって「よし！仕事を取るぞ」と生き込んだものの、営業の仕方がよく分からない。

「どうしよう」と思って知り合いのイベント企画、派遣をやっている方に相談して、営業の極意を教わりながら、何軒も僕と一緒に回って下ったので心強かったです。

「あとは自分でやっていけよ」ということになり、当たり前ですがそんなに簡単にはいく訳はないが、試行錯誤を繰り返しながらやっています。正直、失敗もあります。

でも、僕はその経験が新鮮で面白いと感じています。

何故ならそれまでは支援者いつも傍に居てくれて意外とやってこなかったんだということに気づきました。同時に周りに支えられていたと思いました。まだまだこれからです。

恐れずに挑戦していきますので、宜しくお願いします。



## 『素直』って何だろう？

昨年じゅぷに入り、たくさんの方に助けをもらいながら1年経ちました。  
短かったような…長かったような…  
それでいてもう2、3年くらい経っているような少し不思議な気持ちです。

そういえば最近ヘルプに入っていて「初めのころより素直になった」と言われる事が多くなってきました。

『素直』といわれてもいったい何が変わったのか？

自分ではイマイチピンとくるものがなかったので、思い切ってある利用者さんに聞いてみたところ…

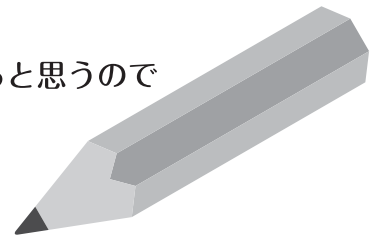
「吉田君、はじめバリア張ってたやろ？」と

確かに入ったばかりのころは、右も左もわからない状態で  
さらに前職での経験を活かさきゃ！と、自分自身にプレッシャーをかけて余裕のない状態でヘルプに入っていたように思います。

必要以上に気を張ってしまっていると  
見えるものも見えなくなり、聞こえるものも聞こえなくなってしまう  
そうすると相手の想いに触れることが出来なくなってしまい、関係を築いていくことは難しくなっていくような気がします。

どのあたりでバリアが無くなっていったのか自分ではわかりませんが  
ヘルプに入り、みなさんと関わりながら少しずつ『新しい自分』を創ってこられたのかなと思っています。

まだまだ頼りないヘルパーですが、少しずつ成長していると思うので  
長～～い目で出来れば優しい目で付き合ってもらえたら  
嬉しいです。



吉田 佳浩

# たんぼ・はたけ 報告

前月号でお伝えしたように、今年はいじゅぶの有志でたんぼと畑をしています。現在の状況を少しお伝えします。



4月初旬、畑を耕耘し、石灰を撒き、野菜を育てる準備をしました。①

4月中旬、枝豆の種を苗ポットで、育苗し、畑へ植付けます。②



5月中旬、花が咲く頃、害虫よけのため、ネットを張りました。③

5月中旬、たんぼを耕耘し、田植えの準備を始めます。④



5月下旬、田植えです。⑤



6月初旬、少しずつゴールがみえはじめました！



⑥地這えキュウリと⑦枝豆の様子。

7月中旬、収穫です。⑧



2名ほどのスタッフの、しかも空いた時間のみ、なので素人丸出しです。笑

畑の方は、全体の1/20ほどしか活用できていません。

何か育ててみたい方、いらっしゃったら大募集。

まだまだこんな状態ですが、設備や環境は完璧！

5月の「よかとも 野外料理」でも、利用させて頂きました。⑨



今後の事業や、「地域で生きる」なにかに繋がればなあと。

昼間つからビール片手にちまちま頑張っております。



# ち ふじたん家のあれこれ



前は、すのこを使った収納を紹介しましたが  
今回は棚です。（^^）

このコーナーはDIYのコーナーみたいになってますね～（笑）



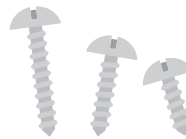
まず材料はフリー板と言う材料です。  
ホームセンターでも色んなサイズが売っています  
今回は25mm厚の物です



まずは好みの大きさに切ります  
（今回は飾り棚を3つ作るので奥行きを3等分に切ります）  
ホームセンターで寸法を伝えれば100円程度で切って貰えます



次は色を塗ります。  
水性ステインを使いました。（水性が後片付けが楽です）  
木目を活かしたい場合は塗った後ウエスで軽くふき取ってください  
乾燥したらクリアを塗ります。汚れ防止になります（^^）



あとは壁に固定します。  
棚受けはアヤハディオで150円程度でした  
好みの高さに付属のネジで固定すれば完成なんです  
実は最大の難関です。



しっかり固定する為に壁下地のあるところに固定する必要があります。  
壁の材質や下地にも種類があるので  
ネットで「壁 下地探し」等で検索すると詳しい方法がみつけてもらえればと思います。

最後に完成図です（^^）  
実物はじゅぷの2階にあります



# じゅぶ川(せん)のコーナー

今回のお題は「冷たい」でした♪  
みなさんの冷たくて美味しい食べ物や、  
夏の思い出など、沢山の川柳を詠んでいただきました☆  
それでは、どうぞ↓

つめたいなこおりはどれもつめたいね

ひーちゃん

(編) ひーちゃんはどんな氷を思いながら詠んでくれたのでしょうか♪

私は、かき氷を思いました☆  
ふわふわでしゃきしゃきな氷にあま〜いシロップ・・・たまらないです!

暑いからカキ氷を食べて

乗り越えて夏休み

よっしい

(編) 毎年言っている気もしますが、今年は本当に暑いですねっ

夏の冷たい食べ物といたらカキ氷!!  
美味しいかき氷を食べて暑い夏を乗り越えるぞ!



嵐山ふわとろアイス 抹茶味

こりらー

(編) こりらーさんは写真も一緒に送ってくださいました!

見ただけで分かるくらい、ふわふわで、美味しそうなアイスでした♪

冷たい手その心には熱い火が

車椅子のエンジェル

(編) 冷たい手をしているのに、熱い心を持つている・・・このギャップにやられてしまいそうです!

甲子園冷たいビールも熱くなる

赤い彗星の鉄郎

(編) キンキンに冷えたビールは最高!

なのに、暑くて熱い甲子園では、冷たいビールも熱くなってしまうのですね・・・この川柳で熱さが伝わってきました!!

夏祭りわたがしふうせん金魚つり

よっし

(編) 夏といえば、お祭りっ♪

わたがし、水風船、金魚釣り、祭りには魅力的なものが沢山ですよねっ  
どこから攻めようかいつも迷っています (笑)

夏風邪を引いてしまうよクーラーで

すきやき

(編) クーラーは涼しくてとても気持ち良い反面、強すぎたり、かけっぱなしだと風邪を引いてしまいますね・・・  
何事も程ほどが一番かもしれませんね!



今回も沢山の投稿を頂きました、ありがとうございます!  
ごぞいませ!

美味しそうな川柳から、素敵なお知らせまで  
楽しく見させていただきました♪  
今年もとても暑いですが、体に気をつけて  
過ごしてくださいね。  
次回も投稿お待ちしております。よろしく  
お願いします♪  
(谷田)



## 新人スタッフ ～自己紹介～

竹花 育子  
(たけはな いくこ)

昨年11月1日より事務兼相談員補助としてじゅぶの仲間入りをさせて頂きました竹花育子と申します。先天性の脳性麻痺で身体障害当事者です。経理事務や営業事務、知的障害者施設での生活支援員、ホテルのフロント、クリーニング店の受付など様々な仕事を経験しました。これらを通して再認識した事は、人と関わり話を聴く事が好きな自分がいるという事です。

そして、ある時双極性感情障害を発症して精神の障害当事者にもなりました。支援センターに繋がり、ピアサポーターとして相談に関わり学ばせてもらっています。私にとって、自己の経験を分かち合える貴重な場となっています。そうこうする内に、もっと深く学びたいと思うようになり、精神保健福祉士の短期通信課程に入学しました。そして、迎えた施設実習の中で染井さんに出会いました。シェアハウス事業をされている事に興味を持ち、一度見学させて頂きたい、と名刺をもらいました。

就労継続A型事業所で働きながら学びを進めていたある日、リハビリに行くのと染井さんが座っておられました。利用者さんのヘルプ中でした。「染井さんですよ、新人研修でお会いしましたが覚えていて下さいますか。」と声をかけて、後日お言葉に甘えて本当に電話をして、ポッシュを見学させてもらい、じゅぶで働かせて下さいとお願いしました。40分にも及ぶ4対1の面接・「共生社会を実現するためには」というテーマのレポートを経て、晴れて採用となりました。後で知った事ですが、障害者雇用促進がその年のじゅぶの方針の一つに掲げられていたのです。

染井さんとの出会い、じゅぶの方針、すべての事には時があると言いますが、本当にそうだなあと思っています。今は、暖かい皆さんに囲まれて、また母校である龍大出身者も多く、懐かしさを感じながら仕事をさせてもらっています。自分の生まれ育った地域で、当事者としての強みを活かしつつ、皆さんと一緒に歩んでいきたいです。大体事務所にいますので、皆さん、お話ししましょう！いろいろ教えて下さい！よろしくお願い致します。

# あしがき



(阿部正之)

以前から欲しかったbluetoothのイヤホンを購入しました。今までは有線だったので煩わしかったのですが、これでジョギング中も懐かしの90年代ユーロビートとともに頭フリフリで走れます。

あんパンを凍らせて、そのまま食べたら美味しいですよ。この夏の発見でした。これからも何かを探求し続けます。



(染井将仁)



(木村佐智子)

9187。私の車のナンバー。悔いは無し。素敵。

かなりの汗かきです。外でタバコ1本吸う間に汗だくになります。ただ悪い事ばかりではありません。何しても汗かくので、実質以上に頑張っているように見られます。よい面悪い面、両面ありますが。よい面に目を向けていきたいです。



(中下和生)

暑い日が続きますね  
先日、汗だくで走っていたら足が攣りました。  
塩あめとスポーツドリンクを飲んだら15分程で治りました。  
軽い脱水だったのかと思ってます。  
水分補給大事ですねー(^^)；



(藤田裕也)



(藤原 光)

ビール造り、はじめました！  
梅干し漬け、はじめました！  
どんどん趣味が老化しつつある27歳、夏！  
楽しい出会いがありますように！



(谷田侑衣菜)

今年の5月に結婚しました！  
沢山の方にお祝いしていただき、本当に嬉しく思います！  
これからも変わらずよろしくお願ひします♪

今年も絶好調にライブを当てています。そろそろ代行屋でも開業してみても言われます。  
どうせ当たるならサマージャンボですよ、サマージャンボ！  
当たったら何をしようか。海の見える別荘…欲しいなあ



(吉田佳浩)

月曜日に清水家の給湯器がこの暑さで壊れてしまいました  
修理が日曜日になったんですが、、、、  
さてさて、一週間 水風呂・・・  
どないしよかなあ



(清水留美)



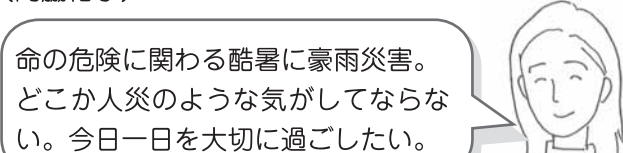
(前田雅文)

毎度のことながら、発行が1ヶ月遅れになってしまいました。  
今年の夏は想定外の暑さ。田んぼ仕事も非常にハードなものになりました。  
山でも水や食料が不足しているのか、猪、鹿、猿、狸などの獣が頻繁に出没し、例年以上に格闘の夏でした。



(門脇裕子)

鮎の塩焼き食べた〜い！  
誰か食べさせて。



(竹花育子)

常勤の上井さんは4月から再び育児休業中で、そのまま産休に入られます。また、学生時代に登録ヘルパーだった前川春奈さん(旧姓 城さん)が、8/20より新たにスタッフとして入職されます。